

製造業のビジネスチャンスが見える  
モノづくり最新情報サイト  
じゃぱんお宝にゆ〜す  
<https://japan.otakaraneews.com>

# じゃぱんお宝にゆ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる  
製造業応援サイト  
じゃぱんお宝WEB新聞  
最新情報満載！好評配信中！

**VANZETTI** CRYOGENIC TECHNOLOGY

## 2023売上高3,300万ユーロ達成

## 受注残高6,200万ユーロ、堅調な受注キープ 年平均成長率20%増、今後3年間継続成長予測

### 好調な海洋分野 バイオガス分野

イタリアのクライオジェニック機器メーカーであるVanzetti Engineering社は、2023年度売上高約3,300万ユーロを達成。受注残高は6,200万ユーロを超え、年平均成長率20%増と堅調な引き合いが続いている。

同社は、独自のクライオジェニック・ソリューションの継続的な開発や長期的パートナーシップの構築、加えて新市場の開拓に積極的に取り組むことで、今後3年間の継続成長を見通している。

### アジア市場拡大

同社は、液化天然ガス(LNG)や気体ガスのためのクライオジェニック機器の設計・製造を行う専門メーカー。

業界の分析結果によれば、クライオジェニック・ポンプ市場の年平均成長率が約10%増に対し、同社は20%増を達成した。好調な売り上げの要因として、主に船舶用のデュアル・フェューエル市場が牽引している。

地域別では、2022年以降総受注量の70%をアジア市場、その他30%を欧州市場が占める。

特に海洋分野とバイオガス分野でのプレゼンスが強まるとともに、自動車分野でも古くからのポジションを変わらず維持している。



### 注目される製品 ソリューション

一方、製品別では、2023年に市場からの反響が最も大きかったソリューションとして、今や世界的に認知されるブランドとなったARTIKAシリーズのサブマージ型クライオジェニック・ポンプのほか、自動車産業やさまざまな産業用ガス・アプリケーションで利用されている一体設計のVT-1から派生したモデルであり、海洋分野で広く普及しているVT-3デュプレックス高圧往復動ポンプが挙げられる。

### 更なる成長に向けて 持続可能な技術開発

Vanzetti Engineering社の代表取締役Valeria Vanzetti Ghio氏によれば、「2023年の業績はアジアの主要企業との長期的なパートナーシップと良好な関係によって実現した海洋市場の発展を大きな原動力として、新たなマイルストーンにいたることができました。このアジア市場は、さまざまな分野に

応用されるクライオジェニック技術のキープレイヤーとしての当社の国際的プレゼンスを高めるのに不可欠な存在です。社員全員が多大な貢献を果たすとともに、揺るぎないコミットメントを示してくれたおかげで、当社は成長を遂げることができました。さらに将来を見据えて、今後の課題をしっかりと意識しながら、持続可能な技術開発をいっそう進めるための新たな機会を見逃さないように、その準備も整っています」と説明する。

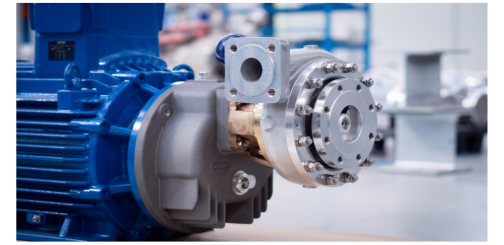
### 今後の見通し

Vanzetti Engineering社の受注高は、過去5年間に比べれば力強さは低下するものの、今後3年間も市場ベンチマークに応じた成長が見込まれている。この予測は、一部の市場の指標に加えて、Vanzetti Engineering社が直近に予定している新規プロジェクトに関連するいくつかの要素に基づいている。

その一つが、欧州における自動車用LNG市場の回復が遅れる可能性を考慮しなければならないこと。現在の地政学的状況や電力優遇政策により、LNG価格が一時的な足かせとなっている。

また、海洋分野の代替燃料市場ではメタノールとアンモニアとの競合が強まっていることも考え合わせる必要がある。

さらに、同社とその製品の特徴である高水準な品質と信頼性を維持しつつ、



組織的な関係強化による生産能力の拡大を他の企業と協力して行うことも重要となる。

### 新プロジェクト

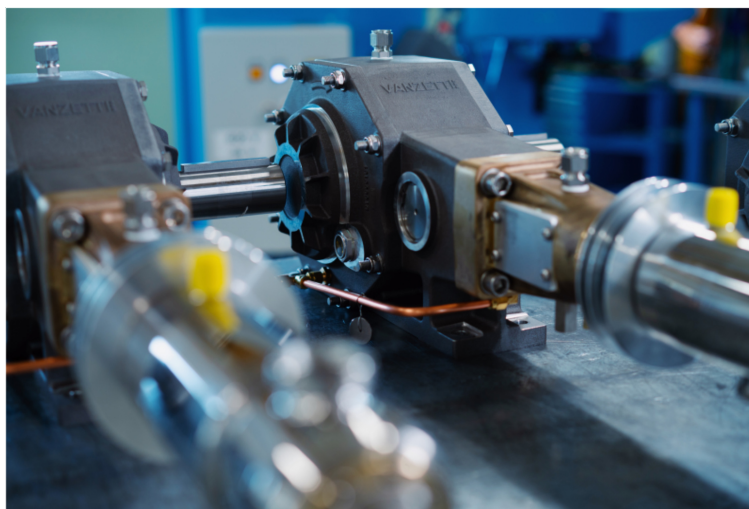
Vanzetti Engineering社の新プロジェクトの中で、特に将来の成長が期待されるのが格納式ポンプの新シリーズの設計。これにより同社は、「小規模LNG基地(Small Scale LNG Terminal)」市場での新たなチャンスを獲得するための戦略的ポジションに立てるうえ、高圧と低圧の両製品を強化することで船舶用デュアル・フェューエル市場という新たな分野に参入できる。

また、Vanzetti Engineering社は、アジアや北米など新たな地域への市場拡大に向けた戦略的投資も計画中で、産業用ガス分野でのシェア回復を目指している。

一方、Vanzetti Engineering社としての実績面では、生産能力の拡大に加え、2023年に新しい多機能窒素テストベンチの開発を完了した。

さらに、航空宇宙分野での重要な新規プロジェクトも進行中で、イタリア航空防衛・安全保障工業会(AIAD: Federation of Italian Companies for Aerospace, Defense and Security)、イタリア宇宙機関(ASI: Italian Space Agency)、イタリア・ピエモンテ州に広がる科学技術に優れた航空宇宙企業らの団体(DAP: Piedmont Aerospace Cluster)など、主要な組織や業界団体と協力している。

(※資料提供:Vanzetti Engineering)



■Vanzetti Engineering社 URL→ <https://www.vanzettiengineering.com/>